

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	施工管理演習						
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	3年次後期		
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース) 選択科目(建築コース) 選択科目(デザインコース)						
担当者	達見清隆						
授業の到達目標(シラバスから)	①安全管理・品質管理・工程管理・原価管理に関する知識を習得する。(C2) ②建築現場に於ける「着工から竣工」までの仕事の流れを理解し、工程表作成方法を理解する。(C2) ③建築技術者としての使命感と倫理感を習得する。(A5)						
日程と内容	第1回(9/16):導入講義(授業の進め方・成績評価法)、建築工事の流れ説明 第2回(9/30):自然災害・人的災害について説明、欠陥・瑕疵・安全管理について説明 第3回(10/7):契約及び建築工事の流れ(光の協会を例に随意契約について説明後、建築工事の流れ解説) 第4回(10/14):契約及び建築工事の流れ(都庁を例に指名競争入札について説明後、建築工事の流れ解説) 第5回(10/21):品質管理(杭工事)、杭芯図作成演習 第6回(10/28):品質管理(土工事・山留め・杭工事)一級建築士試験問題(土・山留め・杭)ヒヤリハット説明 第7回(11/4):学外授業(福岡ソフトバンクファーム球場新築工事見学) 第8回(11/11):パークシティLaLa横浜の杭事件について説明、一級建築士試験問題(土・山留め・杭)解説 第9回(11/18):品質管理(鉄筋・型枠・コンクリート)一級建築士試験問題(鉄筋・型枠・コンクリート) 第10回(11/25):一級建築士試験問題(鉄筋・型枠・コンクリート)解説、積算演習 第11回(12/2):積算演習解説、工程管理について説明 第12回(12/9):サイクル工程表について説明、工程表作成演習 第13回(12/16):施工計画・準備工事について説明、一級建築士試験問題(届出・契約) 第14回(12/19):原価管理について説明、一級建築士試験問題(届出・契約)解説 第15回(1/13):倫理・品質管理(防水・タイル)について説明 (1/20)定期試験						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験	25%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計				
	演習	25%		100%			
授業到達目標の達成度	①安全管理・品質管理・工程管理・原価管理に関して知識を習得する。:概ね達成できた ②建築現場に於ける「着工から竣工」までの仕事の流れを理解し、これを基に工程表を作成する。:概ね達成できた ③建築技術者としての使命感と倫理感を習得する。:概ね達成できた						
反省点	・パークシティLaLa横浜の杭工事において、隣り合う建物の手すりの高さが2.4cm違ってきたことが報道され、旭化成建材㈱の杭工事が原因であることが記されていた。準備期間は十分とは言えなかったが、施工管理の重要性については理解してもらったと思う。この授業に1回分を要したので、他の授業に多少しわ寄せがあったかもしれない。						
来年度の計画	・適当な学外授業の対象現場を見つけるのは難しいが、継続していきたい。 ・施工図作成、工程表作成に関する演習、過去の一級建築士試験(施工)は引き続き体験してもらおう。 ・建築現場で基本となる安全管理・品質管理・工程管理・原価管理についての説明を行う。 ・建築施工に関するホットな話題があれば、積極的に取り入れたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	・毎回の授業終了直前に授業に関する質問を記入する用紙を配布した。(質問以外の書き込みもあった。)これを次の授業に反映させるようにしていたので設問10の評価が良かったのかもしれない。 ・総合評価で何件か学外授業を評価する記載があった。また、建築士試験に対する疑問も1件あった。学外授業は適当な現場を探したいと思う。また、建築士試験は授業で話していないところもあるが、難しさを体験することに意味があると考えている。(一級建築士試験の点数は評点に反映していない。試験を体験することに意義がある。)						
履修登録者数	40名	定期試験 受験者数	38名	合格者数	38名	合格率	100%